

第7回俳句賞「25」秀逸十句

遠藤由樹子選 秀逸十句

- 5 真白なり角を伐らるる鹿の尻
名古屋高等学校 A 二年 加納輝一
- 7 ふくろふのいろ梟のゐる森のいろ
山形県立山形東高等学校 二年 三浦温人
- 13 うららかや床屋の多き町に住む
神奈川県立横浜翠嵐高等学校 二年 河合菜々子
- 14 冬萌や草の日記はぴかぴかと
海城高等学校 B 一年 張澤埜
- 18 星月夜なら畦道をすれ違ふ
群馬県立高崎高等学校 二年 植原拓巳
- 20 ローファーに集まつてくる兎たち
洗足学園中学高等学校 一年 木村麻里
- 25 夏草に埋もれし犬の名を叫ぶ
東京家政学院高等学校 一年 武富愛音
- 32 スリッパを足で揃へて秋の蝶
名古屋高等学校 B 一年 田籠瑛
- 36 「復活」と叫ぶ少年秋の海
灘高等学校 二年 岡本龍太郎
- 39 冷めぬまま詰め卒業の卵焼き
洛南高等学校 三年 清水航

岸本尚毅選 秀逸十句

- 5 浮くみもり沈むみもりや小雨降る
名古屋高等学校 A 二年 加納輝一
- 7 短日や Can★Do の星くつきりと
山形県立山形東高等学校 二年 渡辺悠月
- 9 赤蜻蛉遊具の網に止まりけり
海城高等学校 A 一年 豊原一誠
- 10 屋上の白き梯子や雲の峰
岡山県立岡山朝日高等学校 二年 吉田有希
- 14 早退に下駄箱広し冬ざくら
海城高等学校 B 二年 濱野佑太
- 19 花びらの吹き寄せられて蟻の道
興南高等学校 三年 新妻美佳
- 20 酔ふ人の口笛上手し秋の風
洗足学園中学高等学校 一年 小笠原駒子
- 27 恐竜が飛び出す絵本雲の峰
群馬県立高崎女子高等学校 一年 奥田羊歩
- 29 遠巻きに線香花火静かなり
長野清泉女学院高等学校 B 二年 武田希美
- 32 食券の紙のかたさや隙間風
名古屋高等学校 B 一年 田籠瑛

高柳克弘選 秀逸十句

- 3 初風呂の香りを母と選びけり
愛知県立岡崎東高等学校 二年 野本美優
- 5 蚊柱や命令形の標識に
名古屋高等学校 A 二年 小田健太
- 7 スケートの手袋をすぐ拾ひけり
山形県立山形東高等学校 二年 須藤巨人
- 14 泥の手のまま鉄棒や大西日
海城高等学校 B 一年 島田道峻
- 24 横浜の秋や新書へ日照雨
神奈川県立多摩高等学校 二年 米澤颯人
- 26 スケートリンクまだ人をらず鳥をらず
立教池袋高等学校 二年 栗本拓実
- 31 教科書は拭けばいいだろ雪合戦
青森県立弘前高等学校 二年 大中廣太郎
- 35 踊り場で踊る高一青嵐
成美平成中等教育学校 一年 鎌田龍
- 36 若沖の群鶏の尾や稲光
灘高等学校 二年 王佳祥
- 39 虎杖を倒して碑文読みにゆく
洛南高等学校 二年 清水航